

Ver0.99c新機能の紹介

1 xpa 4.x 対応

xpa4.5, 4.6, 4.7 ~ のソースの読込に対応しました。

WebClient情報の自動解析

解析処理時、WebClientプログラム特有の情報を自動的に取得します。

- Webプロジェクト名やスタートアッププログラム等の設定情報
- タスクタイプ
- ルート特性
- フォームのプロパティ(ウインドウタイプ等)
- コントロールのプロパティ(テーブルのWebスタイル、サブフォームのアウトレット等)
- カスタムプロパティ(フォーム/コントロール)
- カスタムバリデータ
- フォルダのWeb特性
- イベント「ルート」ロジック
- ルート呼出箇所

ルーティング情報表示プログラム

プロジェクト内にルーティング情報がある場合は、メニューに「ルーティング情報」を表示します。
 このプログラムにより、ルーティングに関するプロジェクト全体の状況を把握できるようになりました。
 プルダウンメニューの「ファイル(F)」、「ルーティング情報」、もしくはツールバー(「Excel」アイコンの左隣)から起動が可能です。
 (WebClientのルート情報が検出されないときはメニューは表示しません)

プログラム画面

スタートアッププログラム/ルート定義

行#	コール名	番号	コール先名	ルート名	出力先
4	Pe=ログイン	6	Login	Login	
5	Pe=ログイン	7	Welcome	Welcome	
6	Pe=ログイン	8	Logout	Logout	
7	Pe=ログイン	3	City1	City1	
8	Pe=ログイン	4	City2	City2	

ルート呼出箇所
 カスタムプロパティ
 カスタムバリデータ

プロジェクト内の「ルート呼出箇所」、「カスタムプロパティ」の一覧、「カスタムバリデータ」の設定箇所を確認することができます。

スタートアッププログラムに設定したプログラムのルートロジック、及び、フォーム、サブフォームの情報を表示します。

プロジェクト内に定義されたWebClientフォームの一覧を表示します。

コンテキストメニューからAngularのソースにアクセスすることも可能です。

全フォーム

P#	フォーム名	属性	属性名	F#	フォーム名	ウインドウタイプ	テーブル/Web属性
3	City1			2	City1	D=デフォルト	M=マテリアルデザインウィジェット
4	City2			2	City2	D=デフォルト	H=HTMLテーブル
5	StartProgram			2	StartProgram	D=デフォルト	
6	Login			2	Login	D=デフォルト	
7	Welcome			2	Welcome	D=デフォルト	
8	Logout			2	Logout	D=デフォルト	

ルート呼出箇所

ルート呼出箇所

P#	プログラム名	T#	タスク名	行#	処理名	F#	フォーム名	C#	コントロール名	項目	式	説明(ルート名)	スタッフ	項目	式	説明(アウトレット名)	スタッフ
3	Login			6	E=イベント/Login					??		3 'Welcome'		??			
6	Login			11	E=イベント/Login					??		6 'Login'		??			
8	Logout			5	T=タスク/P=前					??		1 'Login'		??			

イベントで「ルート」をコールしている箇所の一覧を表示します。
 「ズーム(F5)」キーによりソースの該当箇所に移動します。

カスタムプロパティ

名前	F#	プログラム名	タグ番号	タグ名	F#	フォーム名	C#	コントロール名	式#	式
Inbox	5	StartProgram			2	StartProgram			2	Str(Fix(RAND(-1)*1000,8,0),'8')
Menu	5	StartProgram			2	StartProgram			5	GetParam('Menu')
User	5	StartProgram			2	StartProgram			1	A

カスタムプロパティが設定されたフォーム及びコントロールの一覧を表示します。
「ズーム (F5)」キーによりソースの該当箇所に移動します。

2 その他の改善事項

実行モードの自動設定

Studioの実行モードが「B=バックグラウンド」に設定している時もユーザ定義開発メニューから起動した時は、自動的に「O=オンライン」で起動するようになりました。RIAやWebClientのプロジェクト開発中でも意識することなく起動が可能です。
(インストール用のプロジェクト「SM_SETUP」を使用する場合はオンラインモードに設定して起動して下さい)

MAGIC特殊パラメータ確認プログラム

特殊パラメータの一覧と現在の実行環境における設定値を表示するプログラムを追加しました。修正モードに変更し、現在値を変更 (INPUTを実行) することが可能です。プルダウンメニューの「ファイル(F)」、「MAGIC特殊パラメータ」から起動が可能です。

パラメータ名	パラメータの説明	現在の値
SpecialLinkWriteAccess	リンクタイプによる[アクセス]特性の動作	Yes
SpecialModifiedDecimalSeparator	ドット(.)キーが押されたときの小数点の動作	No
SpecialNullTerminateBlobs	文字データによってBLOB項目を更新する処理	Yes
SpecialOIDzOrder	フォーム上のZオーダーの管理方法を指定	No
SpecialRefreshControlProperties	コントロールのリフレッシュ動作	No
SpecialRestoreMaximizedForm	最大化していないフォームを呼び出す時の動作	Yes
SpecialSkipInMultiEdit	複数行の[エディット]の上/下の矢印キー動作	No
SpecialTrimTrailingNulls	NULL文字がある場合、Trim関数で削除	No
SpecialAnsiExpression	文字列関数評価時に、常に Shift-JISで 評価する	No
SpecialDefaultTransactionMode	デフォルトのトランザクションモードの指定	P=物理
SpecialExpressionAutoComplete	式エディタの関数のリストの動作	D=遅延
SpecialExpressionTooltip	式エディタの関数のツールチップ動作	N=オフ遅延
SpecialRMCompatibleLogic	[RM互換] ロジックユニットの有効指定	W=親と同一
SpecialSetParamRemoveEmptyStrings	SetParam関数の処理を制御	P=物理
SpecialShowCheckInScreen	チェックイン時のコメントダイアログ	No
SpecialShowCheckOutScreen	チェックアウト時のコメントダイアログ	Yes
SpecialShowStatusBarPanels	タスクモードをステータスバーに表示	Yes
SpecialWaitForRuntimeSimulateOperation	ユーザ定義開発メニューのシミュレーション処理の動作	No
RtfBufferSize	[リッチエディット]コントロールのデータサイズ	0
SpecialDatabaseConnectionPooling	データベース接続を異なるコンテキスト間で分配	Yes

説明 オンラインタスクのデフォルトのトランザクションモードを指定します。
D 「遅延」がデフォルトになります。
N 「オフ遅延」がデフォルトになります。
W 「親と同一」がデフォルトになります。
P 「物理」がデフォルトになります。

照会モードへ
値初期化